

# 第7回 NRI コーディネーター会合概要

2025 年 7 月 10 日 23 時(JST)～

オンライン開催

## 背景と目的

- 会議は WSIS フォーラム(WSIS+20 High-Level Event 2025)開催中に実施されたため、同会議参加者が多く、一部は欠席。
  - 主目的は、リレストロムで開催された IGF 2025 での NRI 活動の振り返りと、12 月までの優先課題の整理。
- 

## 主な議題とディスカッション

### 1. Lillestrom IGF での NRI 活動の評価

- 高い評価と感謝が表明された（準備・セッション構成・地域連携など）
- 成果報告の共有希望（セッション内容・地域別の声をまとめた文書の全体配布提案あり）
- ベストプラクティス共有の拡充提案（例：小規模国からの実践紹介、オンラインセッション開催など）

### 2. WSIS+20 プロセスと今後のアクション

- 4 月に合意された NRI の共同文書を見直し、可能であれば WSIS+20 レビューに向けた共同提出を目指す。
- Youth IGF（ドイツ・カナダ）からの並行提案も紹介され、内容の整合性と連携の重要性が指摘された。
- 「統一的立場」or「概ねの合意」文書としての提出方針が議論された。

### 3. NRIs 間の連携強化・持続可能性

- IGF の持続可能性と自律運営の重要性が指摘され、資金確保や組織体制の議論強化が求められた。
- NRIs 運営の知見共有のため、月例ウェビナーやツールキットの見直し提案が挙げられた。
  - 提案テーマ例：マルチステークホルダー体制、イベント運営、資金管理、ユースとの連携
- NRIs ツールキットの改訂や事例集の付録追加も検討へ。

#### 4. 国連総会（12 月）と IGF の将来

- IGF の今後の存続と体制は **12 月（16 日・17 日）の国連総会決議**に左右される可能性がある。
  - 各国の NRIs には、**自国政府やニューヨーク常駐代表団との連携強化**が推奨された。

---

## 合意された次のステップ（To Do）

| 項目            | 内容                                         |
|---------------|--------------------------------------------|
| WSIS+20 文書見直し | 4 月案を再確認し、可能なら NRI から共同提出へ（7 月 25 日締切）     |
| 知見共有促進        | 月例ウェビナー開催、事例集の共有、ツールキットの更新可能性を検討           |
| 各国連携          | NRIs は自国政府および国連代表団との連携を強化                  |
| 青年層との連携       | Youth IGF からの提案（ドイツ・カナダ）を NRI ネットワークで共有・連携 |